

## 1 2 熊本県における道路を取り巻く各種特性

道路整備に当たっては、県勢の総括的な特性を踏まえることが肝要であり、このため県全体の視点から道路に関わる特性について整理する。

### (1) 地形(勢)的特性

県土面積7,403 km<sup>2</sup>で、全国で第15位、九州で第3位

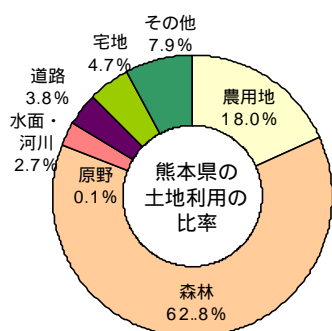
熊本県は九州の中央に位置し、県土の全体的な地勢は、有明海、八代海に沿って平野部、山地部が縦方向にそれぞれ広がりを見せており、これに宇土半島、天草上島・下島が突起状に連なっている。山地部の中心部、大分県との県境近くに世界的規模の阿蘇カルデラ(東西：18km、南北：24km)が中央構造線の上に位置している。

東側の山地部から西側の有明海及び八代海にかけて4つの一級河川(菊池川、白川、緑川、球磨川)が流下し、平野部を横断している。

平野部には都市が形成され、また食料供給の源である農業が、さらに山地部では林業を中心に、また中山間部において農業が営まれ、半島部では主として水産業が営まれている。

東側の山地部は、阿蘇火山及び九州中央山地がそびえ急峻な地形で、かつ全体的に火山灰であるローム層に覆われている。西側の半島部は、海岸部に平坦地が少なく全体的に急峻な地形を呈しており、土質はもろい。

熊本県の地勢状況と土地面積構成



資料：熊本県統計年鑑

